

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 2025年 11月 16日

公表: 2025年 12月 6日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスいろは第二単位

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか。	6		お子様の活動に合わせて机や椅子の配置を変更する等工夫を行い、広々としたスペースを確保できるようにしています。	法令に遵守したスペースを確保して支援しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法令に則った人数を配置しています。	法令に遵守した職員配置を行い支援しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	6		距離感を保つこと、一定の間隔で並ぶこと等に配慮し、障害特性に応じた対応を行っています。玄関やトイレに段差がありますが、声掛けをして注意を促したり、職員がドアを開閉し、そばで見守るようにしています。	障害特性に合わせて声掛けを行い、段差に気付くような支援をしています。玄関等の段差解消に努め、バリアフリー化を目指していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		支援中にお子様と掃除に取り組んだり、支援後に掃除に取り組んでいます。活動内容に合わせた空間やスペースを確保しています。	清潔で、心地よく過ごせる環境を目指し、環境の見直しを行っています。また、机や椅子のレイアウトを変更し、活動に合わせた空間作りをしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や環境を使用することが認められる環境になっているか。	6		体調不良や気持ち不安定な時等、個別の部屋を必要に応じて使用できるようにしています。	必要に応じて使用できるように環境を整えています。
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		職員間で情報共有を行い、PDCAサイクルを用いて業務の見直しや改善を行っています。	申し送りや振り返り、施設会議等を通じて、PDCAサイクルを意識して業務改善に努めています。
業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表により、保護者様の意向を確認しています。事務所と事業所の玄関やHPIに集計結果を公表し、いただいた意見をもとに業務改善に繋げています。	評価表の他にも、送迎時や懇談、参観等を通じて、保護者様の意向等を把握し、その内容を業務改善に繋げています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に1回以上、施設会議を開催し、各職員の意見等を共有することで、業務改善に繋げています。	月に1回以上、施設会議を開催し、職員間の意見を共有・把握しています。些細な点にも目を向け、業務改善に努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	定期的に第三者による評価を行い、業務改善に繋げています。	いただいた意見等をもとに、改善会議を踏まえて業務改善に繋げています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内・外で研修の機会を確保しています。	定期的に社内研修や事例検討会を開催しています。また、社外研修にも参加しています。研修の参加者は報告書を作成し、内容を職員間で共有しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		お子様の特性に応じた支援プログラムを作成し、他職員に周知をしています。	お子様の特性に応じた支援プログラムを作成し、玄関での掲示やホームページでの公表をしています。
適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントの見直しを行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析しています。また、アセスメントをもとに計画の作成を行っています。	契約時及び、年に2回の懇談でアセスメントを取っています。また、アセスメントをもとに、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析し、個々に適した計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通認識の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		ケース会議やモニタリング会議を開催し、お子様の最善の利益を考慮した検討を行っています。	児童発達支援管理責任者だけでなく、保育士や児童指導員、理学療法士等、様々な専門的意見を共有し、共通認識の下で検討を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画作成後、職員間で情報共有し、計画に沿った支援を行っています。	計画の内容を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。また、計画に沿った支援が行われているかを日々振り返っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたアセスメントツールを使用しています。申し送りを通じて、お子様の様子を共有しています。	標準化されたアセスメントツールを活用し、お子様の状況把握を行っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		お子様の支援に必要な項目を適切に設定しています。送迎時や連絡帳を通じて、情報共有を行い、支援内容を設定しています。	年に2回以上、アセスメントやモニタリング評価を行い、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の内容を踏まえ、個々に適した具体的な支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		長期的な活動や工作活動等をチームで立案しています。	月に1回以上実施している施設会議を中心に活動プログラムをチームで検討・立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		同じ内容であっても、ルールやメンバー、方法を変えることで、工夫しています。	e-sports等の長期的かつ定期的に実施している活動では、同じ内容であっても、実施方法等に変化を持たせ、活動が固定化しないよう工夫をしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動を集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		事前に計画を立て、個別活動と集団活動を組み合わせることで支援しています。	アセスメントやモニタリング評価をもとに、個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成し、支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼や午後の申し送り、連絡ノートを活用して情報共有を行い、チームで連携した支援を行っています。	日々朝礼や午後の申し送りを行い、当日の支援内容や役割分担、連絡事項等を共有し、職員間で必ず打ち合わせを行っています。

関係機関や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		翌日の朝礼や午後の申し送り、連絡ノートを活用して情報共有を行い、振り返りを行っています。	帰りの送迎業務により、支援終了後の振り返りは翌日に行っています。その際、先日の支援内容を振り返り、気付いた点等を共有しています。
	22	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		サービス提供記録を取り、支援の検証や改善に繋げています。	連絡帳の複写を残すことで日々の支援の記録を残しています。また、翌日に振り返りを行い、連絡帳の内容を共有し、支援の改善に繋げています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		年に2回、モニタリング評価を行っています。	年に2回、モニタリング評価を行い、計画の見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		「自立支援と日常生活の充実の為の活動」を中心に支援を行っています。	今後はガイドラインの総則の4つの基本活動を複数組み合わせ、幅広く支援を行っています。また、地域交流の機会の提供ができるよう努めてまいります。
	25	こどもが自己選択できるような工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6		活動内容の中等でお子様に自己選択できる機会を提供し、自己決定する力を育てるための支援をしています。	お子様に自己選択できる機会を提供し、お子様の決定を大切にした支援を行っています。活動を通して自己選択の経験を積み、自己決定する力を育てています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6		日頃からお子様や保護者様と関わり、状況をよく理解した者が参加するようにしています。	日頃からお子様や保護者様と関わり、状況をよく理解した者が参加しています。また、記録を作成し、職員間で共有しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて連携が取れる体制を整備しています。	必要に応じて現在繋がっていない関係機関と連絡を取り、連携した支援の実施に努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画、行事予定表等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		下校表を頂いたり、電話連絡を用いて情報共有や連絡調整をしています。	送迎時や電話連絡にて、下校時刻の確認やお子様の情報共有をしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		必要に応じて連携が取れる体制を整備しています。	必要に応じて連携し、情報共有と相互理解に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		必要に応じて連携が取れる体制を整備しています。	必要に応じて担当者会議を行い、情報共有と相互理解が行える体制を整備しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		法人内の児童発達支援センターとの連携を図っています。	法人内の児童発達支援センターと連携を図り、助言等を求めています。また、研修を受ける機会を設け、積極的な参加に努めています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	児童館への外出や活動をしています。また、地域の公園等に出かけています。	地域のお子様と関わる機会を設けています。今後も引き続き、地域のお子様と関わる機会を設けていきます。
保護者への説明責任等	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	定期的に参加しています。	小牧市が行っている、子ども連絡会等に参加しています。また、報告書を作成し、職員間で共有しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や連絡帳を通して、お子様の状況や課題をお伝えし、共通理解に繋げています。	送迎時や連絡帳を通じて、日々のお子様の状況をお伝えし、共通理解に繋げています。また、懇談や参観でも保護者様と情報共有をしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機械や情報提供等を行っているか。	6		コミュニケーションを大切にし、助言を行えるような体制を整備しています。	保護者様から上がってきた課題に対し、職員間で検討し、速やかに助言が行えるようにしています。
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		見学や契約の際に丁寧に説明しています。	契約時に運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明をしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		アセスメントにて、お子様や保護者様の意向を確認し、お子様の将来を考え、計画を作成しています。	送迎時や連絡帳、懇談等を通じて、お子様や保護者様の意向を確認する機会を設けています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		懇談の際に計画や支援内容の説明を行い、同意をいただいています。	年に2回懇談を行い、計画を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者様から同意をいただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時や連絡帳、電話連絡を通じて、相談に応じ、助言等を行っています。	保護者様から相談等があった際は、適切に応じ、職員間で検討して、速やかに助言が行えるようにしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		保護者交流会を開催し、保護者様同士で交流する機会を設けています。	年に1回は保護者交流会を開催し、保護者様同士が交流する機会を設けています。また、今後はきょうだい同士で交流する機会を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		迅速かつ適切に対応できる体制を整えています。職員間で周知し、再発防止に努めています。	迅速かつ適切に対応しています。また、苦情対応記録を作成し、職員間で共有することで、再発防止に努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		月に1回以上の頻度で、通信とブログを用いて情報発信をしています。	月に1回以上、通信の発行やHPでブログの更新をしています。また、イベント終了後には、通信やHPブログを用いて、イベントの様子を発信しています。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫を用いて、厳重に扱っています。	個人情報の留意について共有しています。また、お子様の個人ファイルは鍵付き書庫を用いて、厳重に保管しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子様に合わせて、伝え方を工夫したり、ジェスチャーを用いる等の工夫をしています。	お子様に対しては、個々に合わせた伝え方をしたり、ジェスチャーを用いる等の工夫をしています。また、保護者様に対しては、送迎時や連絡帳を用いて、意思の疎通や情報共有を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	児童館での活動の際に実施しています。	児童館での活動の際、地域のお子様や施設職員の方を招待し実施しました。今後も、地域住民を招待する等、お子様が地域に繰り出して活動できるような支援を検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		事務所や事業所の玄関に掲示しています。また、定期的な研修と共に、発生を想定した訓練を実施しています。	各種マニュアルは事務所と事業所の玄関に掲示しています。また、定期的な研修や、発生を想定した訓練を実施しています。
非常時等の対応	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助その他必要な訓練を行っているか。	6		事務所や事業所の玄関に掲示しています。また、年に2回、避難訓練を行っています。	非常災害計画(BCP)を策定するとともに、非常災害に備えて、年に2回、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		保護者様にお子様の状況を確認しています。	契約時や懇談時に確認し、職員間で共有しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		必要に応じて、保護者様に医師の指示書等を提出していただき、医師の指示書等に基づく対応をしています。	医師の指示をお伺いし、指示に基づく対応をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		研修等を通して、安全管理を十分行い支援しています。	安全計画を策定し、職員間で共有しています。また、研修や訓練を通じて、安全管理を十分行い支援しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		送迎時や懇談、参観等でお伝えしています。	送迎時や懇談、参観等でお伝えしています。また、事業所の玄関に掲示しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		報告書を作成し、申し送り等で共有しています。また、再発防止に向けた方策について検討しています。	ヒヤリハット報告書を作成し、申し送り等で共有することで、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的な研修を行っています。	虐待を防止する為、虐待防止委員会が中心となり、社内研修を実施しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		ご了承をいただいた上で、必要に応じて実施できる体制を整えています。	身体拘束適正化委員会を中心に、該当者の確認をしています。また、該当者がいる場合は、保護者様の了承を得た上で、計画に記載していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。